

主な出来事

元年▶30年

- 1989(平成元年) 小倉市政2期目スタート
市民プールオープン
- 1990(「2年) 台風19号による豪雨災害
- 1992(「4年) スイピアセンターオープン
市の人口15万人達成
- 1994(「6年) ごみ減量化目指し、シール制導入
- 1995(「7年) 阪神・淡路大震災の被災地に救助隊員などを派遣
- 1996(「8年) クリーンセンター完成
ソフトピアジャパンセンターオープン
- 1997(「9年) お勝山ふれあいセンター完成
- 1998(「10年) 武道館・情報工房オープン
市制80周年記念式典を開催
決戦関ヶ原大垣博が開催
- 2000(「12年) 小川市政スタート
守屋多々志美術館オープン
- 2002(「14年) 子育て交流プラザオープン
台風6号による豪雨災害
- 2004(「16年) おおがき芭蕉生誕360年祭を開催
大垣環状線全線開通
台風23号による豪雨災害
- 2006(「18年) 上石津町・墨俣町と合併
- 2007(「19年) 市民サービスセンター開設
レジ袋有料化開始
- 2008(「20年) 市制90周年記念式典を開催
大垣駅南北自由通路が開通
元気ハツラツ市スタート
子育て総合支援センター(現南部子育て支援センター)開設
- 2011(「23年) 東日本大震災の被災地に救助隊員などを派遣
- 2012(「24年) 奥の細道むすびの地記念館オープン
大垣駅北口広場完成
東海環状自動車道大垣西IC〜養老JCT開通
ぎふ清流国体・大会開催
天皇皇后両陛下下行幸啓
昼飯大塚古墳歴史公園開園
- 2013(「25年) 船町港跡が国名勝に指定
西濃運輸が第85回都市対抗野球大会で優勝
- 2014(「26年) 国際女子ソフトボール大会開催
米国オレゴン州2都市と交流がスタート
キッズピアおおがき子育て支援センター開設
大垣祭の軌行事がユネスコ無形文化遺産に登録
- 2015(「27年) 市役所新庁舎建設工事着工
- 2016(「28年) 大垣駅南街区の整備完了
市制100周年記念式典を開催



来年度1月から業務を開始する市役所新庁舎

ぎふ清流国体・大会炬火リレー(平成24年)

大垣をご視察された天皇皇后両陛下(平成24年)

西濃運輸が都市対抗野球大会で優勝(平成26年)

平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された「大垣祭の軌行事」(平成29年撮影)

平成の後期に入ると、中心市街地を活性化させるため、官民一体となってさまざまな取り組みを行いました。

平成22年に、駅通りを会場とした元気ハツラツ市などがスタート。平成24年には、奥の細道むすびの地記念館が開館するなど、大垣の特色を生かしながら、まちなかのにぎわい創出を図りました。

また、同年のぎふ清流国体・大会では、市民総参加で盛り上がったほか、平成26年の西濃運輸硬式野球部の都市対抗野球大会全国制覇、28年の大垣まつりのユネスコ無形文化遺産への登録など、うれしいビッグニュースもありました。

そして今年度は市制100周年として、多彩な事業を展開し、たくさんの方の皆さんと節目の年をお祝いしました。

私たちとともに歩み、発展してきた「大垣の平成30年間」。これからも皆さんとともに歩みを進め、次の時代を創っていきます。

循環型社会目指して

平成のはじめごろ、全国的な社会問題としてクローズアップされた「ごみ問題」。大垣市においても対策が検討され、ごみの減量化・再資源化への取り組みが始まりました。

平成5年には、ビン・カン、10年には全地域でペットボトル、24年にはプラスチック製容器包装の分別収集を開始＝写真＝するなど、循環型社会を目指し、着実に歩みを進めています。



市民協働のまちづくり

めまぐるしく変化する平成の時代。多様化する市民ニーズに対応するためには、行政だけでなく、市民と一体となってまちづくりを進める必要がありました。そうした中、平成16年には、市民の魅力で活力あるまちを創っていくことと「かがやきライフトOWN構想」を策定。さまざまな分野で活躍する市民団体のサポートなどを行い、当時59だった市民活動団体数は、現在では約250まで増え、地域活動に貢献しています。



多彩な市民団体が活動を紹介した「かがやきライフトOWN・大垣2005」(平成17年)

駅周辺の整備進む

中心市街地活性化において重要な役割を果たす駅周辺の開発事業。平成の後期には次々と整備が進められました。平成21年には大垣駅南北自由通路「水都ブリッジ」が、24年には同駅北口広場が完成し、利便性が向上しました。

また、平成28年には駅南口のシンボルとして「スイトスクエア大垣」＝写真＝が誕生。商業施設などが入り、多くの人でにぎわうなど、まちなかの活性化につながりました。

